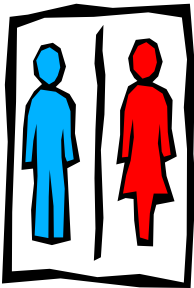


性別役割分業意識について

男女の平等は、日本国憲法にうたわれている基本理念です。
しかし、「男は〇〇、女は〇〇」といった、男女の役割を、固定的にとらえる意識が存在します。
今日は、そういった意識について、考えてみましょう。

* 性別役割分業意識とは？



性別役割分業意識とは、「外で働くのは男性の役割」「家事・育児は女性の役割」という考え方です。

外で働く仕事は、給料を得ることができ「ペイドワーク」といいます。それに対して、報酬が支払われない仕事を、「アンペイドワーク」といいます。

アンペイドワークの代表的なものは「家事」「育児」「介護」です。

日本では長い間、アンペイドワークは、主に女性が行ってきました。

次の調査結果を見てください。（特に、第1位～第3位に注目してください）

女性が「仕事を続けるのが難しい」と感じる理由

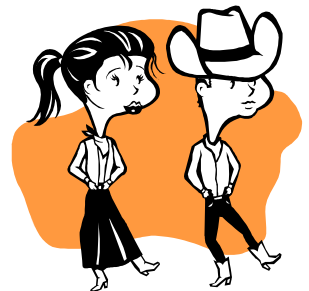
- 第1位 家庭と仕事の両立が困難
- 第2位 育児期間後の復帰が困難
- 第3位 育児・介護などに対する配慮がない

他には、「男性に比べて採用が少ない」「男女の社会的分業」
「男性を優先する意識がある」 等々

女性の社会進出が進み、共働き家庭が増えている今現在も、「アンペイドワーク（家事や育児など）は女性の仕事である」という考え方が根強く残り続け、女性の離職率の高さや、再就職の困難さに結びついています。

男性側にも、「男性は、大黒柱である（一家を養えるだけの給料を稼ぐ）べきだ」といったプレッシャーがかかっていることがあります。

性別役割分業意識が、家庭や職場における、男女差別を生む原因になっているのです。



「男性（女性）の仕事だから」と言われた時に、「本当に、男性（女性）だけがすべきことなのかな？」「本当に、男性（女性）だけに向いている仕事なのかな？」と疑問をもってみましょう。

* どちらの役割？

自分の考えに当てはまるところに、○をつけてみましょう。

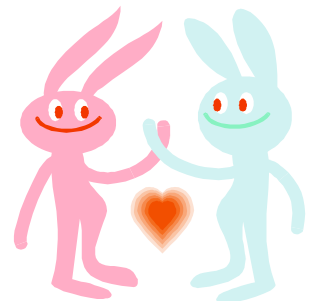
		ぜったい 男性	どちらか といえば 男性	同じ	どちらか といえば 女性	ぜったい 女性
学校	① 力仕事・運搬作業をする					
	② 委員会の記録・板書					
	③ 「〇〇長」になる					
職場	④ 保育士・看護師になる					
	⑤ 受付業務をする					
家庭	⑥ 食事（弁当）を作る					
	⑦ 食器を洗う					
	⑧ 洗濯やアイロンがけをする					
	⑨ 部屋やトイレの掃除をする					
	⑩ ゴミを出す					
	⑪ 日曜大工をする					
育児	⑫ 乳幼児の世話をする					
	⑬ 参観日やPTA行事に参加する					

(注) ④の質問の、「保育士」・「看護師」は、昔は「保母」・「看護婦」と呼ばれていましたが、女性だけの仕事というイメージを改める目的で、呼び方が変わりました。

* 性別による、固定的な役割分担を見直そう！

自分では選べない、生まれもった性別で、役割や職業選択が制限されるというのは、生きづらい社会の在り方です。

一人ひとりがもっている個性や能力を、性別にかかわらずに発揮できる社会をつくっていきましょう。



※ 次回の放送は、12月10日(水)の予定です。お楽しみに…

お願い 今日放送を聞いての生徒の皆さんの感想や、この資料をご家庭に持ち帰ってご家族の方と話し合ったこと、ご感想などをお寄せください。提出は、ホームルーム担任まで

----- 切り取り線 -----

第6回ハートフルデー（性別役割分業意識について）

（ ）年次 生徒 or 保護者